

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和5年4月21日(2023.4.21)

【公開番号】特開2022-105807(P2022-105807A)

【公開日】令和4年7月15日(2022.7.15)

【年通号数】公開公報(特許)2022-129

【出願番号】特願2021-372(P2021-372)

【国際特許分類】

H 01 R 12/77(2011.01)

10

【F I】

H 01 R 12/77

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月12日(2023.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0020】

左右両張出部12の前端部には、シート状フレキシブル導電部材11を上下に貫通した形態の係止孔14が形成されている。シート状フレキシブル導電部材11を上から見た平面図において、係止孔14は、長辺を前後方向に向けた長方形をなしている。シート状フレキシブル導電部材11のうち係止孔14よりも後方の領域には、左右に間隔を空けた複数(本実施例では3つ)の位置決め孔15が形成されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

図3に示すように、第2端子金具30は、前後方向に細長い角筒状の第2端子本体部31と、第2端子本体部31の後端から後方へ延出した第2接続部32とを有する単一部品である。第2端子本体部31には、図示しない相手側コネクタに設けた相手側端子が、前方から挿入されて接続されるようになっている。第2接続部32の前端部には、第2端子本体部31と同じ幅寸法を有する第2幅広部33が形成されている。第2接続部32は、第2幅広部33よりも幅狭で、第2幅広部33の後端から後方へ延出した細長い第2延出部34を有する。第2接続部32は、第2延出部34の後端から下向き(シート状フレキシブル導電部材11に接近する方向)に屈曲した第2挿入部35を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【図2】

